

新基幹系情報システム国保システム等について（報告）

保険企画課

1 新システム開発の背景

国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療制度、国民年金、医療助成の各業務は、従来、ホストコンピュータシステムを使用して事務処理を行ってきたが、稼働から長年経過し、たび重なる改修により構造が複雑になるなど使用の限界が近づいてきたことから、基幹系情報システム再構築事業の一環として新システムを開発してきた。

2 新システムの稼働後の状況

平成 27 年 10 月 26 日(月)に稼働を開始したが、新国保システムなどで一部の機能が使用できないなど、稼働当初から不具合が発生し、不安定な稼働状況が続いている。

3 不具合が発生している要因

新国保システムの開発作業に遅れが生じていたが、介護保険システムとの連携や被保険者証のカード化一斉更新に間に合わせることを考慮し、10 月中に稼働させることとしたため、結果として、事前のテストが十分ではなかったと考えられる。

4 業務への主な影響

- (1) オンライン端末のプログラムの不具合に起因する反応の遅さなどによる窓口での事務処理の遅れ
- (2) 月次等に一括して処理するためのプログラムの不具合による事務処理の遅れ
- (3) 連携不具合による統計資料等作成の遅れ など

5 対応について

不具合は徐々に解消されてきているが、まだ、処理内容を再確認した上でないと使用できない機能などもあることから、早期に、完全に安定した形でシステムを運用できるよう、改修作業を進めている。